



# STAR'S REPORT

2015年2月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2015年2月期中間期(2014年3月1日から2014年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2014年11月



取締役社長

佐藤 肇

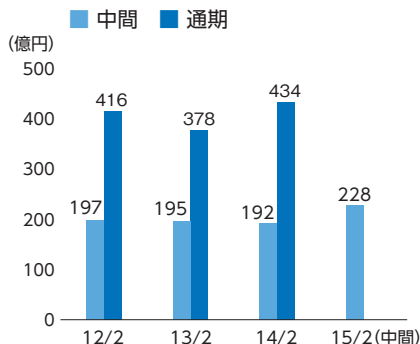
## 当中間期の業績について

当中間期における経済情勢は、米国経済は、年初に寒波による一時的な影響を受けましたが、総じて景気回復が続きました。欧州においては、地政学的要因による先行き不透明感があるものの、景気は緩やかながら回復傾向にありました。アジアにおいては、中国で景気が減速気味に推移したほか東南アジアではタイで政情不安があるなど、景気は鈍化傾向となりました。一方、わが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動の影響を受けつつも、総じて景気は回復基調で推移しました。

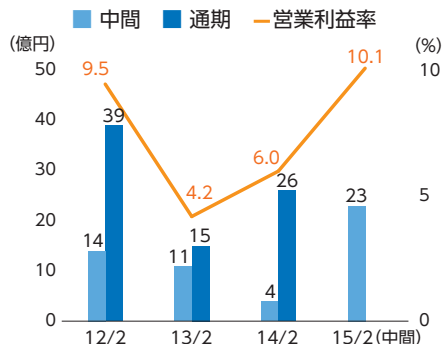
当社グループの主要関連市場におきましては、工作機械市場では、国内、海外ともに需要は前年同期を上回る水準で推移しました。特機事業におけるPOS関連市場では、米国と国内の需要が好調だったほか、欧州も回復傾向で推移しました。精密部品に関連する市場では、腕時計関連が、完成品およびムーブメントともに需要は好調に推移したほか、自動車関連などの需要も増加しました。

## ▶ 連結業績ハイライト

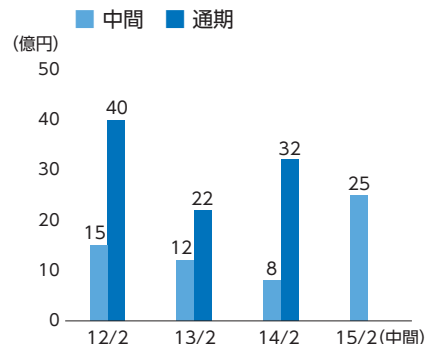
### 売上高



### 営業利益／営業利益率



### 経常利益



なお、当中間期における為替レートは、米ドルおよびユーロともに前年同期に比べ円安水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、工作機械を中心に全事業で販売が増加したことに加え、円安の効果もあり、当中間期の売上高は前年同期比18.6%増の228億4千3百万円となりました。利益につきましては、営業利益は同363.1%増の23億7百万円、経常利益は同200.3%増の25億3百万円、四半期純利益は同831.4%増の21億1千5百万円と大幅な増益となりました。

## 事業別の状況について

特機事業については、米国および国内市場でスマートフォンやタブレット端末を利用した決済システム(モバイルPOS)向けの小型プリンターの販売が伸長したほか、欧州市場およびアジア市場でも販売は好調に推移し、売上、利益ともに大幅に増加しました。

工作機械事業については、米国市場で医療関連の販売

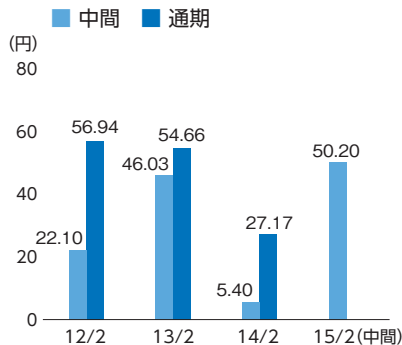
が低調だったものの、欧州市場をはじめアジア市場、国内市場で自動車関連などの販売が好調に推移したことから、売上、利益ともに大幅に増加しました。なお、2013年4月から組立生産を開始したタイの生産拠点は、2014年6月までに一連の部品加工設備の導入が完了し、部品加工から最終組立までの一貫生産体制が整いました。

精密部品事業については、時計部品は、腕時計メーカーの販売好調を受け販売を大きく伸ばしたほか、非時計部品は、海外での販売が堅調に推移したことなどにより、売上、利益ともに大幅に増加しました。

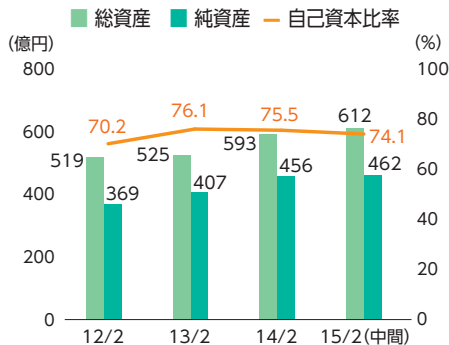
## 通期の見通しについて

世界経済は欧州における地政学的要因による先行き不透明感があるものの、緩やかながら回復を続けています。このような状況のなか、通期の見通しについては、特機事業は、米国および国内市場を中心にモバイルPOS向けの販売が好調なことから、売上、利益ともに増加する見

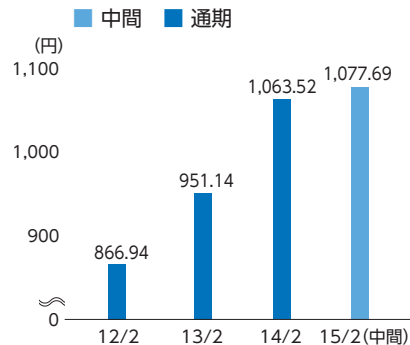
1株当たり純利益



総資産／純資産／自己資本比率



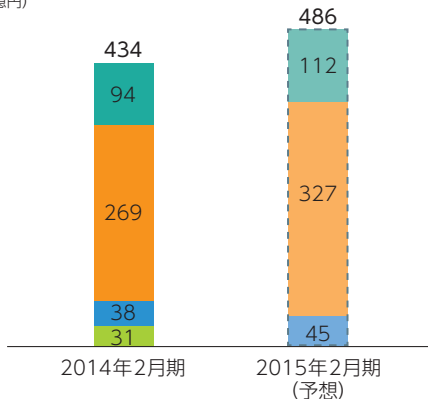
1株当たり純資産



# トップメッセージ

込みです。工作機械事業は、主力の欧州市場を中心にアジア市場、国内市場において好調な受注が続くものと予想しており、売上、利益ともに増加する見込みです。精密部品事業は、時計部品は腕時計メーカーの販売好調による増産基調を受け、引き続き受注は好調に推移することが予想され、非時計部品についても自動車関連部品、空調関連部品、医療関連部品などがそれぞれ伸びること

●セグメント別売上高 2015年2月期見通し  
 (■)特機事業 (■)工作機械事業 (■)精密部品事業 (■)小型音響部品事業  
 (億円)



※小型音響部品事業については、2014年1月1日付で事業を終息しました。

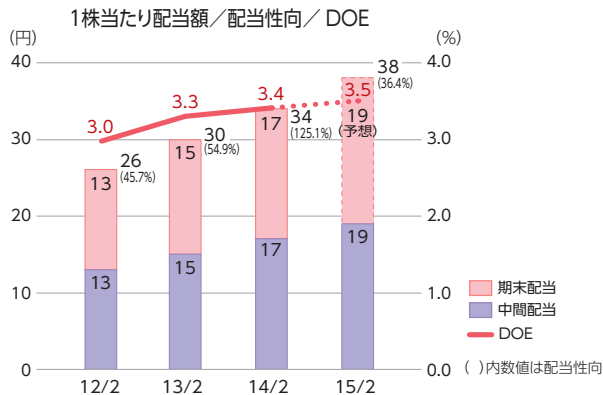
から、売上、利益ともに増加する見込みです。

以上により通期の連結業績については、売上高は前期比で11.8%増の486億円、利益については、営業利益は同99.5%増の52億円、経常利益は同70.8%増の55億円、当期純利益は同284.9%増の44億円となる見込みです。

## 株主の皆様へ

従来からの考えのとおり当社グループは、「単なる売上規模の拡大ではなく、グローバルでニッチな市場で収益性を重視していく」という基本方針のもと、世界的に景気回復が見込まれるこの数年の間に、次の成長への礎を構築していきます。そして株主の皆様が、当社の株式を長期的に保有していただける魅力的な会社を目指したいと考えています。グループ一丸となってさらなる業績の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

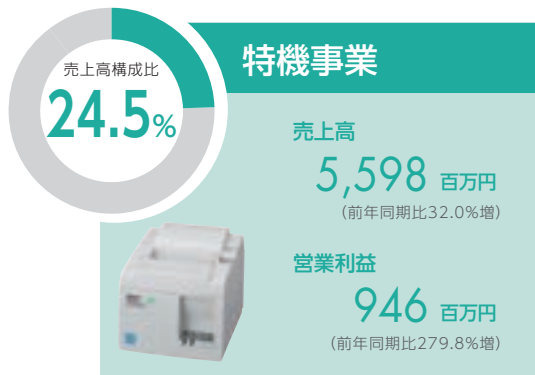
## 株主還元



株主還元については、配当性向(連結)40%以上を目標にDOE(連結株主資本配当率)を勘案しながら実施していきたいと考えております。

当期の1株当たりの中間配当は19円(前期の中間配当に比べ2円増配)とさせていただきます。また、期末配当についても、同じく1株当たり19円(前期の期末配当に比べ2円増配)を予定しております。

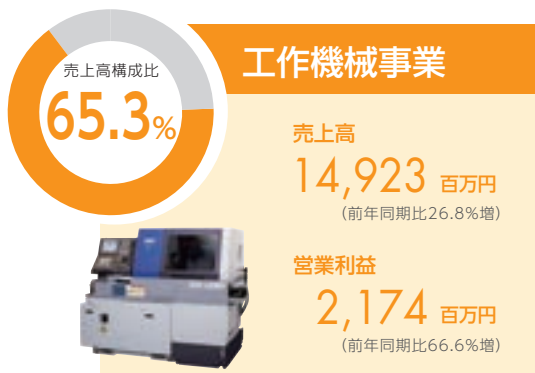
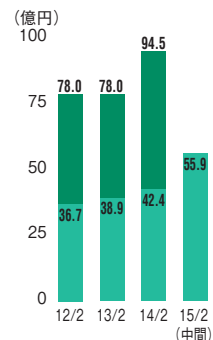
## 事業別の概況



### ▶ 当中間期の概況

小型プリンターでは、米国および国内市場は、スマートフォンやタブレット端末を利用した決済システム(モバイルPOS)向けなどで販売が好調に推移し、欧州市場も景気回復傾向のなか売上を伸ばしました。また、アジア市場は、中国でドットインパクト製品の販売が伸びるなど、全地域において売上は大幅に増加しました。

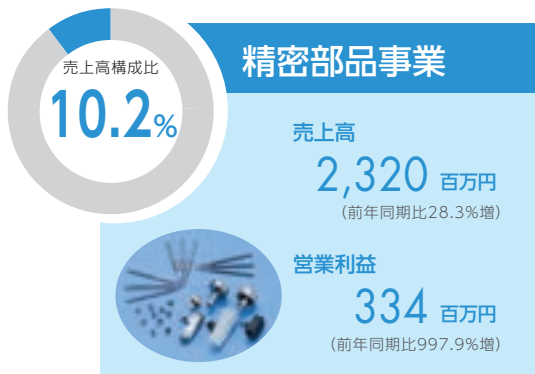
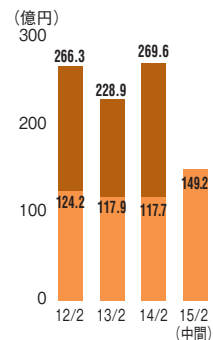
### 売上高 (■中間 ■通期)



### ▶ 当中間期の概況

CNC自動旋盤では、欧州市場は、昨年の夏以降受注の回復傾向が続かなか自動車関連などの販売が好調で売上は大幅に増加しましたが、米国市場は、主力の医療関連の販売が低調だったことから、売上は減少しました。アジア市場は、東南アジアで自動車関連の販売が低調だったものの、東アジアでは自動車、通信、医療関連の販売が好調に推移し、売上は大幅に増加しました。国内市場は、自動車関連を中心に販売が好調に推移し、売上は大幅に増加しました。

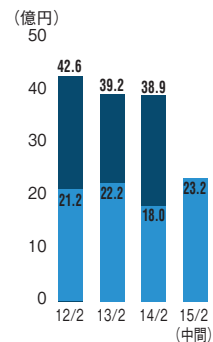
### 売上高 (■中間 ■通期)



### ▶ 当中間期の概況

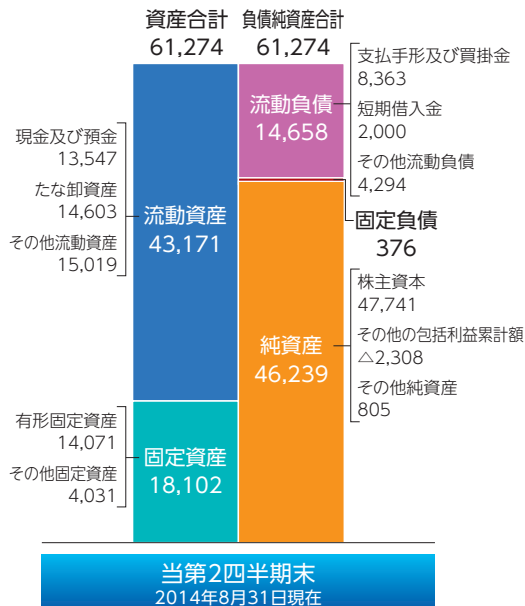
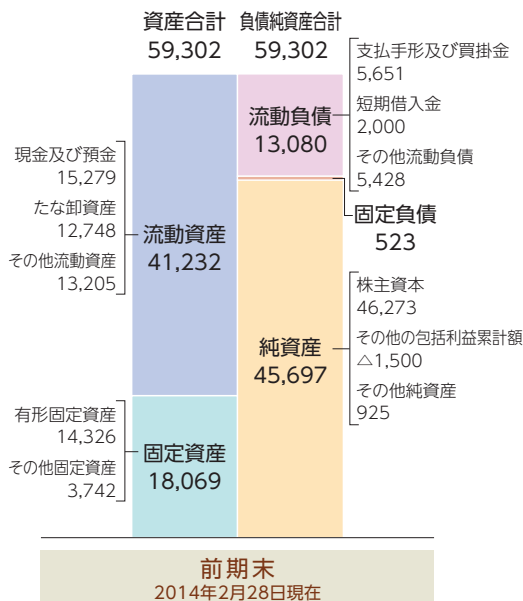
時計部品は、腕時計メーカーの販売好調を受け、売上は大幅に増加しました。非時計部品は、海外において自動車関連部品を中心にハードディスク駆動装置(HDD)部品、空調関連部品、医療関連部品などの販売が堅調に推移したため、売上は増加しました。

### 売上高 (■中間 ■通期)

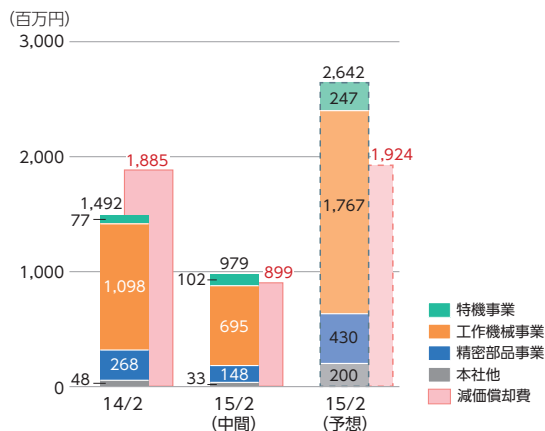


# 連結財務情報【要約】

## 四半期連結貸借対照表の概要 単位：百万円



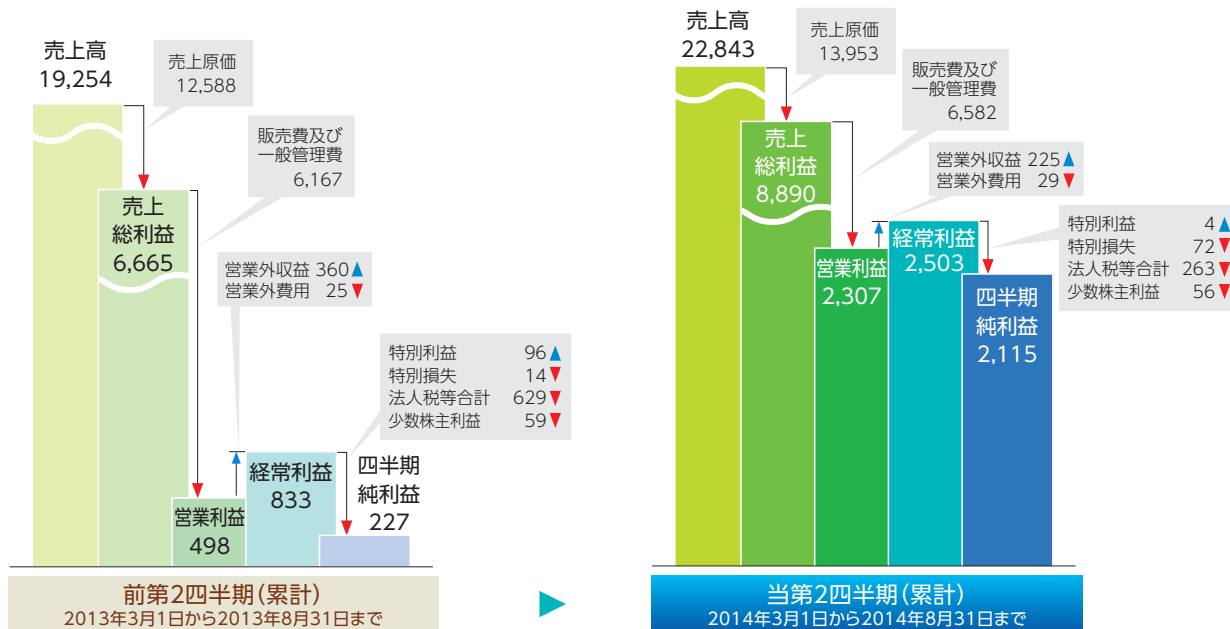
## 設備投資



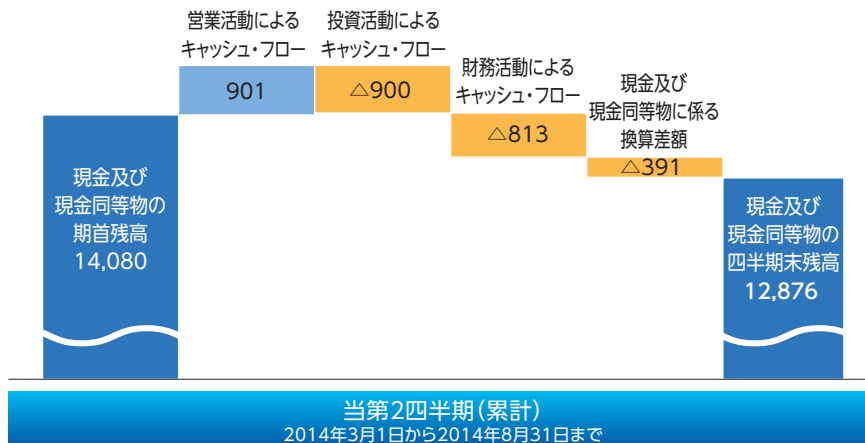
## 主な設備投資実績および予定

事業	内訳
特機事業	新製品用の金型等
工作機械事業	海外工場の生産設備 合理化、維持更新等
精密部品事業	合理化、維持更新等
本社他	太陽光発電設備 情報システム関連等

## 四半期連結損益計算書の概要 単位：百万円



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 単位：百万円



## NEWS

## ▶ 大手クラウドサービスに当社プリンターとソフトウェアが採用

株式会社リクルートライフスタイルが全国10,000店舗以上のヘアサロンに提供しているクラウド型予約管理システムに、当社の印字用ソフトウェア「Star WebPRNT」およびレシート発行用プリンター2機種が採用されました。

このシステムは、インターネットに接続されているパソコンやタブレット端末をレジとして利用できる特長があります。「Star WebPRNT」と今回採用されたBluetooth対応プリンターにより、業界で初めて\* WebブラウザからBluetooth経由での直接印字を実現しました。

\*当社調べによる



採用された据え置きプリンター TSP654II(左)とモバイルプリンター SM-S210i(右)

## ▶ スイス型CNC自動旋盤「ST-20」を開発

主に医療・自動車・航空機分野での高付加価値部品をターゲットに、複合加工能力・生産性に優れた自動旋盤として高い評価を得ているSTシリーズの新製品「ST-20」を開発しました。「ST-20」は、正面加工用の対向タレット型刃物台に加え、背面加工用にもタレット型刃物台を搭載した3タレットの多機能モデルです。

独立制御の対向タレット型刃物台による正面側の同時加工および正面と同等の複合加工能力を持つ背面専用タレットによる効率的な工程分割、正面・背面のオーバーラップ加工を可能としたほか、当社独自の制御方式であるスターモーションコントロールシステムの搭載などにより加工時間の短縮を図りました。

発売時期  
2014年9月





## ▶「リテールテックJAPAN2014」に出展

2014年3月に東京ビッグサイトにて開催された、流通業界に最新のIT機器・システムを紹介する国内最大級の展示会「リテールテックJAPAN2014」に出展しました。

当社ブースでは、モバイルPOS関連のシステム・インテグレーターなどを中心に多くの方々にお越しいただき、多機能端末「AsuraCPRNT」をはじめとした印字ソリューションを紹介しました。

また、「AsuraCPRNT」を動作させるアプリケーションの開発パートナー募集を目的とした「Asuraコンテスト」を実施し、同展示会でも参加を募りました。6月末には寄せられたアイデアのなかから3社の受賞が決定し、受賞企業と連携してアプリケーションの開発を進めています。



白と青を基調としたスタイリッシュなブースは  
当社の先進的なソリューションを印象づけました

## TOPICS CSR活動

当社ではCSRへの取り組みとして、環境保全活動をはじめとしたさまざまな活動を継続して行っています。毎年、本社や事業所を置く静岡市内の海岸や河川の清掃奉仕活動に参加しており、5月にはこれまでの活動実績に対し、主催の静岡市環境保全推進協会から感謝状をいただきました。

また、中国・大連にある生産子会社、斯大精密(大連)有限公司においても毎年清掃活動や植樹活動を実施しており、4月には従業員有志が約千本のエンジュの木を植えたほか、6月と8月には、それぞれ約200名が参加し、会社周辺および市内の森林公園や海岸の清掃を行いました。



8月に実施した中国・大連の海岸清掃活動

グローバルネットワーク (2014年11月1日現在)

NEWS

米国・カリフォルニアに特機事業の2つの活動拠点を開設

特機事業の販売子会社スターマイクロソクスアメリカ・INCのマーケティング活動の拠点(グローバル・マーケティング・センター)を2014年4月カリフォルニア州サンノゼに、販売拠点の事務所を9月に同州タスティンに開設しました。

これらの拠点において西海岸に本拠を置く大手IT企業や有力販売代理店と緊密な関係を築き、さらなる販売拡大につなげるとともに、新たなビジネスモデルの立ち上げもサポートしていきます。

スター CNCマシンツール Corp.(米国)

スターマイクロソクス アメリカ・INC(米国)

スターアメリカ ホールディング・INC(米国)

斯大精密(大連) 有限公司(中国)

本社

上海星米精機 有限公司(中国)

上海星昂機械有限公司(中国)  
天星精密有限公司(香港)

スターマイクロソクス マニュファクチュアリング (タイランド) Co., LTD(タイ)

スターマイクロソクス(タイランド) Co., LTD(タイ)

スターマイクロソクス GB・LTD(英国)

スターマイクロソクス ヨーロッパ・LTD(英国)

スターマイクロソクス GmbH(ドイツ)

スターマイクロソクス AG(スイス)

スターマシンツール フランス・SAS(フランス)

スターマイクロソクス プレジジョン (タイランド) Co., LTD(タイ)

スターマイクロソクス サウスイースト アジア Co., LTD(タイ)

事業所

本社  
品質技術センター

■特機事業部  
庵原工場  
東京営業所

■機械事業部  
菊川工場  
東京営業所  
大阪営業所  
名古屋営業所  
諏訪営業所

■精密部品事業部  
富士見工場

国内子会社

(株)ミクロ札幌  
スターメタル(株)

NEWS

タイの工作機械販売子会社の事務所移転

スターマイクロソクス(タイランド) Co.,LTDは、2014年6月、事務所をこれまでと同じサムプラカーン地区の新たな場所へ移転しました。

新事務所では、新たに倉庫スペースを設置したほか、ショールームスペースを拡大し、実機見学や加工部品の試作などビフォーサービスの充実を図りました。これにより東南アジア全体のお客様への対応を充実させ、さらなる販売拡大を目指します。



# 会社概況・株式状況 (2014年8月31日現在)

## ● 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	565名
	(注)契約社員等の当中間期の平均雇用人員52名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター、カードリーダーライター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品)

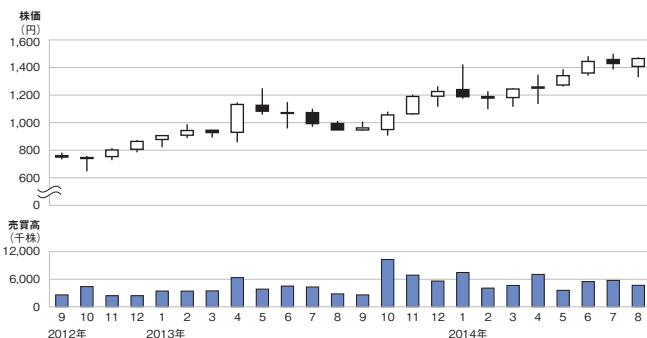
## ● 役員

代表取締役社長	佐藤 肇	執行役員	青木 隆之
常務取締役	田中 博	執行役員	杉浦 啓之
常務取締役	佐藤 衛	執行役員	西沢 良和
取締役執行役員	倉前 隆	執行役員	山梨 正人
取締役執行役員	村上 淳一		
取締役(社外)	岩崎 清悟		
常勤監査役(社外)	坪井 孝男		
監査役(社外)	洞江 秀		
監査役(社外)	杉本 基		

## ● 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	47,033,234株
株主数	8,686名

## ● 株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)

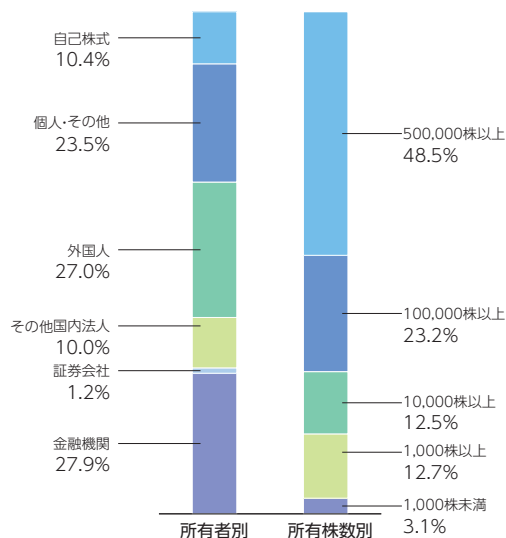


## ● 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,520	6.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,286	5.4
シチズンホールディングス株式会社	2,058	4.9
株式会社静岡銀行	1,582	3.8
株式会社みずほ銀行	1,348	3.2
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	1,025	2.4
リズム時計工業株式会社	1,006	2.4
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVI01	944	2.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	824	2.0
ゴールドマンサックスインターナショナル	726	1.7

(注1) 当社は、自己株式4,874千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## ● 所有者別・所有株数別分布状況



# 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL ( <a href="http://www.star-m.jp">http://www.star-m.jp</a> )
単元株式数	100 株

## ●ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.star-m.jp>



## 株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住所・氏名等のご変更</li> <li>● 単元未満株式の買取および買増請求</li> <li>● 配当金の受領方法のご変更</li> </ul>	<p>口座をお持ちの証券会社</p>	<p>特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社*</p> <p>東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) *三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)においてもお取次しております。</p> <p>《郵便物送付先・連絡先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009 (通話料無料)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未受領の配当金に関するお問合せ</li> <li>● 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼</li> <li>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	<p>すべての株主様</p> <p>株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。</p> <p>《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)</p>	

## スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10  
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。

